

2021年度(令和3年度)

自己評価報告書

**学校法人 東北外語学園
キャスウェル ホテル&ブライダル専門学校**

■2021年度（令和元年度） 自己評価について

本校では、学生等が関係業界等のニーズを踏まえたより質の高い職業教育を継続的に享受していけるように、学校運営の改善を目指し学校自己評価を行いました。評価にあたっては、文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に実施しております。この自己評価の結果を活用し、さらなる教育活動並びに学校運営等の質の向上に努めてまいりたいと考えています。

1. 対象期間：2021年（令和3年）4月1日 ～ 2022年（令和4年）3月31日

2. 実施方法

- (1) 実施時期：2022年5月
- (2) 実施回数：年1回
- (3) 実施体制：校長を中心に教職員で自己評価を行っております。
- (4) 評価結果の公表方法：当該報告書を本校ホームページに掲載して公表

3. 自己評価の項目

自己評価は、以下の10項目について実施しております。

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

評価項目の達成および取組状況

(1).教育理念・目標

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	学校の理念・目的・育成人財像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
②	学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
③	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
④	学校の理念・目的・育成人財像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
⑤	各学科の教育目標、育成人財像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① ホテルの専門学校として「ホスピタリティ精神」と「バランス感覚」を持った、高度な専門知識と豊かな人間性を持つ人材を育成することを目的として、喜びと感動を共有できる業界人材を送り出せるよう努力する。
- ② 習得した知識を、視察研修、実習、インターンシップを通じた、現場で活かせる実践的な教育に力をいれている。
- ③ 観光業界と協調しながら情勢を先読みするスピード感のある対応のできる学校づくりを行っていきたい。
- ④ 学校案内、ホームページ、ガイダンス、オープンキャンパスにより、学生・父母等に周知を図っている。
- ⑤ 毎年、学習内容の見直しを図り、カリキュラムに反映させている。

(2).学校運営

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
②	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
③	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
④	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1
⑤	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
⑥	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
⑦	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
⑧	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

■状況、課題、改善策について

- ①② 理事会で承認された事業計画をもとに毎年運営方針を策定している。事業計画及び運営方針は、学校法人の全職員を対象として会議等の機会により周知している。
- ③ 学校運営に関する組織は整備されており、必要に応じて部門間で意見交換の上、適正に判断し業務を遂行している。

- ④ 現在の学校運営の状況に対応するため規程の整備を行った。特に年休制度については「学園年休」「疾病休暇」の制度を独自で整備し、急な休みにも対応できるよう配慮している。
- ⑤ 意思決定については学園の規程において定められている校務分掌、職務権限に従って行われ、有効かつ効率的に運営されている。各部門ごとに、校務分掌表を作成し、担当する業務を明確にしている。
- ⑥ 学校として法令や基準等で確認が必要な場合は、宮城県担当者に随時問い合わせ、適切に対処している。また随時専門家等に相談し、学校法人として基本的なコンプライアンス体制は整備されている。
- ⑦ 各種学校行事の活動状況や学科毎の教育活動・成果については、ホームページで情報公開を行っている。
- ⑧ 前年度に引き続きコロナの影響でオンライン授業や職員の業務打合せを行う時はWEB会議システム(ZoomやGoogle Meet)を使用し、授業は中止することなく規定の回数実施でき、打合せは滞りなく行うことができた。

(3)教育活動

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
②	教育理念、育成人財や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
④	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
⑤	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
⑥	関連分野における実践的な職業教育(産学連携におけるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
⑦	授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
⑧	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
⑨	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
⑩	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
⑪	人材育成目標の達成に向け事業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
⑫	関連分野における業界等の連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
⑬	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	④	3	2	1
⑭	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されている。
- ② 教育理念、育成人財や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保を明確にしている。また時代、社会のニーズによって変化する姿勢を持つため、常にアンテナを張っている。
- ③ 学科のカリキュラムは体系的に編成している。

- ④ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや学生の資質に合わせて、教育方法の工夫・開発を実施している。
- ⑤ 例年、研修時の企業訪問等で現場の方々から得た業界動向を参考にし、かつ講師陣との連携を図り、必要な事項に関しては授業内容に反映させている。
- ⑥ コロナ禍ではあったが、受け入れ可能な企業に打診し、多くの実習の実施を可能にすることができた。
- ⑦ 全科目で授業アンケートを実施し、担当講師にも結果を配布し、評価・授業改善に活用している。
- ⑧ 現場で必要と思われるスキルを学生のうちから身につけさせ、即戦力となるような人材を業界に輩出できるように、評価を取り入れられる関係性、もしくは産学連携を組めることが理想であり、今後の課題である。
- ⑨ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっている。
- ⑩ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な流れで資格取得が組み込まれている。
- ⑪ 人材育成目標を学校の方針を基に、講師、職員一丸になって指導する意識の共有をし、それを維持している。
- ⑫ 関連分野における業界等の連携において、今後優れた教員を確保する取り組みがあると、さらに職員の意識向上が見込まれると思う。
- ⑬ 業界関連の新情報は共有し、資質向上を図っている。社会の財産となる学生を育成するためには、最新の情報を把握し発信できる教員は必要である。学園全体で、教員の資質向上が図られる具体的な研修企画を望みたい。
- ⑭ 学校内外で研修が行われている。

(4).学修成果

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
②	資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
③	退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
⑤	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① 就職については各担任、進路指導室が連携し、週1回の会議と年間スケジュールに基づき、企業説明会、就職セミナー、就職ガイダンス、模擬面接を実施している。学生と企業 mismatchesを防ぐべく、個人面談を入学当初より実施し、担任・講師・進路室が三位一体となって指導を行っている。
- ② 授業内での指導の他に自己学習を促し、また課外講座を設けて検定取得率の向上を図っている。各講師が個別に学生の理解度の把握を行うことで、ピンポイントで指導することができている。
- ③ 学生との距離が近い為、方向性に悩んでいる学生の小さな変化にも気づくことができることが退学率の低減につながられている。
- ④ 企業の方から入社した学生の状況把握はできているものの、他は担任レベルでの限定的な把握で、継続的な把握の為の組織作りができていない。同窓会の組織としてこの把握をすることができたらと思う。卒業生データファイルなどを作成、毎年更新し、OB,OG訪問もより可能になると考えられる。

- ⑤ 卒業生が来校した際、卒業生の意見をヒアリングし教育活動の改善に活用しているが、限定的なものであり、全体としてのシステムは整っていない。卒業後のキャリア形成への学習効果の把握や教育活動の改善のため取り組みが今後の課題である。

(5).学生支援

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
②	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
③	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
⑦	保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
⑧	卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
⑨	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
⑩	高校・高等専修学校等の連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	3	②	1

■状況、課題、改善策について

- ① 担任が就職、進学指導の窓口となっており、キャリア系科目の講師とともに自己分析、履歴書作成指導、模擬面接指導を行っている。また進路指導室では求人情報の取りまとめ、学生への最新情報配信と学内企業説明会、学内就職セミナーの企画と実施を行っている。
- ② 担任制を採用し、定期的に学生と面談を行い学習、健康、生活といった相談を行っている。なお特に対応が難しい精神的な問題には、臨床心理士などの専門家をスクールカウンセラーとして配置し担任と連携している。
- ③ 毎年、高等教育の修学支援新制度の更新申請を行い、対象校となったことで今後は経済的に困窮している学生に対してこれまで以上に支援ができると考えている。また引き続き日本学生支援機構の奨学金制度、入学時の学費サポート制度、2年次特待生、学費の延納・分割納入など様々な側面から経済的に支援する制度も継続していく。
- ④ 毎年定期的に学生の健康診断を行っている。保健室も常備し、カウンセラーも配置してメンタル面の相談もできる体制を整えている。
- ⑤ 課外活動として毎年1・2年生合同レクリエーションを実施し、学年を超えての交流の機会を設けている。
- ⑥ 学校の近くに学生寮を設置している。ここでは寮監が常駐し、学習面や生活面から進路の相談まで幅広く対応している。
- ⑦ 保護者には前後期の期末試験後、各科目の成績・出席状況を発送し、学習面・出席面について伝えていく。さらに学校の進路の状況についての取り組みの案内文書を同封し、家庭へも就職活動支援のお願いをしている。なお体調不良、悩みによる不登校の学生や問題を抱えた学生の保護者とはその都度担任から電話による報告・相談を行い改善に向けた連携を行っている。
- ⑧ 卒業後も旧担任等に連絡があり、仕事の悩みを聞いたり、相談やアドバイスをしている。
- ⑨ 社会人のニーズを踏まえた実習室を含め講師、カリキュラムなど教育環境の整備をしている。
- ⑩ 高校・高等専修学校等の連携によるキャリア教育・職業教育については現実的に体制が整えられていないので、具体的に取り組むことができるようにしたい。

(6).教育環境

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように設備されているか	④	3	2	1
②	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
③	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① 新型コロナウイルス感染症対策として今後の授業運営のあり方を見直し、R3年度より必携PC制度の導入を決定した。それに伴い本館5階、8階のフロアにWi-Fi環境を整備し、ネットワークを使用した授業ができる教室を増加させている。併せてプロジェクターも設置し、ICTを活用した授業を展開することで教育効果があげられるように努めていきたい。必携PCの導入により学生一人一人パソコンを配布したが、接続不具合などの問題が多発し点検等を行っている。ITトラブル対応チームのスキルアップが今後の課題である。教室、実習室等、施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されている。
- ② レストラン・バー実習室、チャペル、ブライダル実習室など整え実践的な教育を行っている。海外研修についてはコロナの影響で中止を余儀なくされた。
- ③ 大規模の地震を想定した避難マニュアルを作成し、年に2回避難訓練を行うようにしている。内容は災害対策本部の設置、避難経路及び誘導手順の確認、校舎の自衛防衛組織の体制作り等である。

(7).学生の受入れ募集

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
③	学納金は妥当なものになっているか	④	3	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① 本校では来校型のイベントに加え、オンラインでの個別説明会を毎月定期的で開催し、本校の特長、学科概要、カリキュラム等をしっかり伝えることで入学後のミスマッチが生じないように、工夫して開催している。どの職員が説明しても偏った説明にならないように、職員一同意思疎通を図るように心掛けている。個別相談の時間では、一人ひとりの希望に合ったアドバイスを行い、他校とも比較した上で進路を決めてもらうように説明をしている。
- ② 教育成果について、「学校紹介パンフレット」「本校ホームページ」「各種イベント」等を通じて伝えており、イベントの時期、参加人数によって、分かりやすく伝えるよう工夫を行った。また今年度はSNSのアカウントを作成し、学校のイベント、教育成果(実習研修、資格取得、就職、進路実績)や、学校の雰囲気や、学校の雰囲気や、学校の雰囲気や、学校の雰囲気が伝わるように投稿内容を学生スタッフにも協力してもらいながら運営を行った。今後も入学を検討している学生に本校のことをより分かりやすく伝えるような工夫と迅速な情報更新を心掛けていきたい。
- ③ 健全な学校運営を基本とし、進学希望者の家計などの環境変化等も踏まえ学納金を決定している。また経済的困窮者が増加傾向にあることから、本校では定期的に学費サポート制度の検討を行うようにしている。

(8).財務

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
③	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
④	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① 当年度決算において学園全体の経常収支差額は黒字となった。経営は順調に推移している。
- ② 毎年度の予算と収支計画については法人本部、各学校で編成・審議を行い、前年度末の理事会に諮ることとなっている。理事会での決定事項に従い適正に実行している。
- ③ 会計監査は関連法規により監査法人及び監事により適正に行われている。
- ④ 私立学校法により閲覧に供することが義務付けられている事業報告書及び財務情報についてはホームページで公開している。

(9).法令等の遵守

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	法令、専修学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
②	個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	④	3	2	1
③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
④	自己評価を公開しているか	④	3	2	1

■状況、課題、改善策について

- ① 設置基準を遵守し運営を適正に行っている。
- ② 個人情報保護に関しては「個人情報への取り組み」(個人情報保護方針)を定め、適正な保護の実現を行っている。
- ③ 昨年に引き続き自己評価委員会により自己評価を行い、その後の学校関係者評価まで実施している。その際に問題点について検討している。
- ④ 自己評価の結果については「学校自己評価報告書」としてホームページによる公開を行っている。

(10).社会貢献・地域貢献

評価項目		適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1

③	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1
---	---	---	---	---	---

■状況、課題、改善策について

- ① 学校の教育資源、施設を貸し教室などにて利用してもらい、社会・地域貢献できるようにしたい。
- ② 夏休み等ボランティアの案内を行い、推奨している。
- ③ 地域に対する教育講座や訓練を主体的に実施することで社会・地域貢献できると思うので年に1度でも実施を検討したい。